

農林水産省・農林水産技術会議事務局委託プロジェクト研究
「脱炭素・環境対応プロジェクト」
「みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業」

課題名：「ブルーカーボンの評価手法及び
効率的藻場形成・拡大技術の開発（R2-R6）」

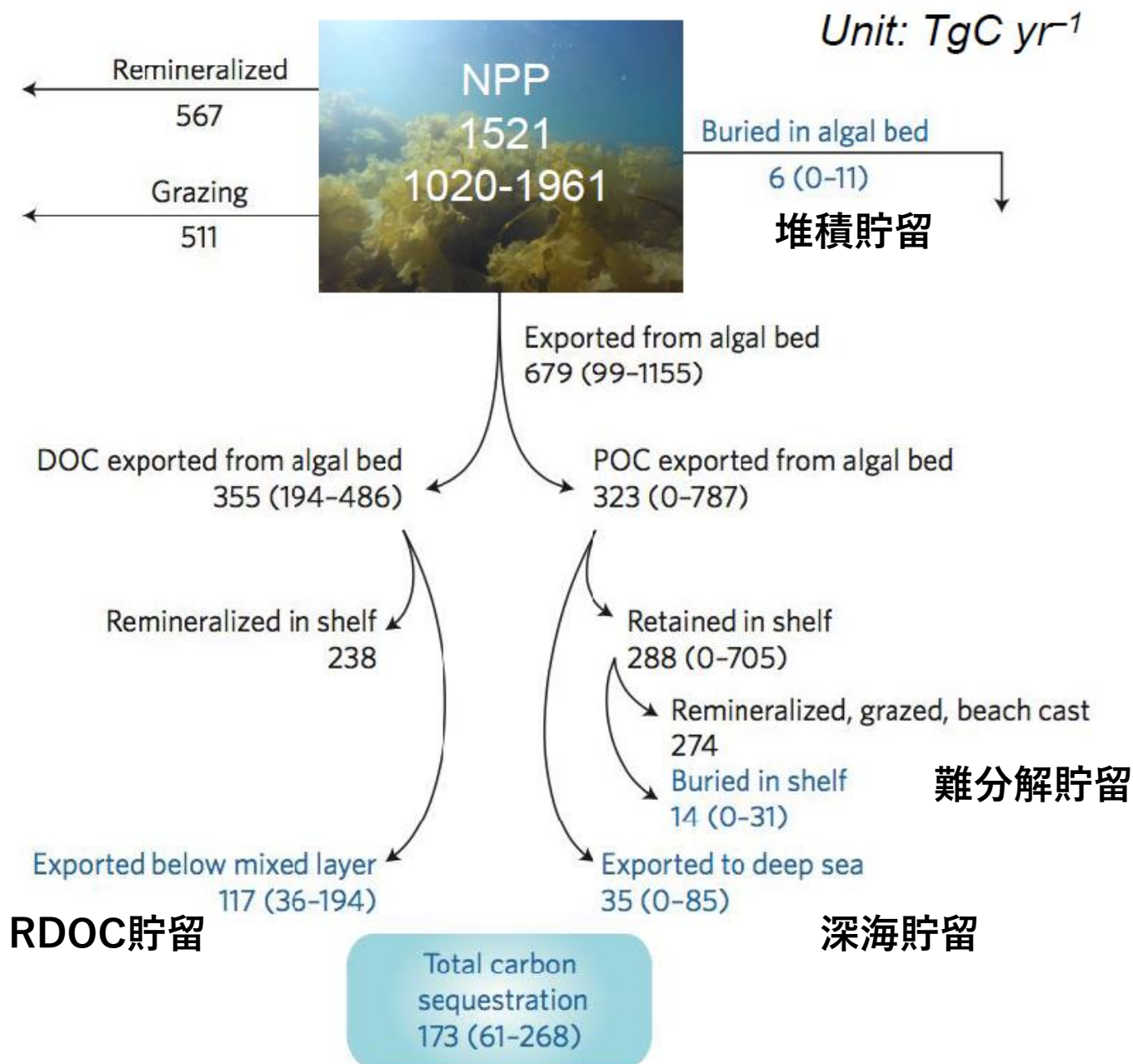
R4年度の研究開発の内容

1. 藻場タイプ別の吸収係数評価モデルの開発と 二酸化炭素吸収量の全国評価（R2-R4）

本年度、吸収係数の算定モデル、海区別・藻場タイプ別の吸収係数の算定値を確定した。加えて、吸収係数の算定に必要な海区別・藻場タイプ別のCO₂隔離量パラメータ、および残存率パラメータ値を確定した。また、環境省の藻場分布図の最新データを再解析し、藻場タイプ別の分布面積の算定値を確定した。

2. ブルーカーボンの増強技術の開発（R3-R6）

各海域の藻場の減衰要因に対応した効果的な対策技術を開発し、藻場面積を増加させる技術開発を実施中。各海域でブルーカーボン生態系を拡大させて、二酸化炭素吸収機能と生態系保全機能（食料生産含む）とを両立させる技術を中心に研究を進めている。



農林水産省・農林水産技術会議事務局委託プロジェクト研究
「脱炭素・環境対応プロジェクト」
「みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業」

課題名：「ブルーカーボンの評価手法及び
効率的藻場形成・拡大技術の開発（R2-R6）」

今後の動き：ガイドブックの作成と公表

掲載予定内容：

- ・ブルーカーボン（BC）とは
- ・BC生態系によるCO₂隔離と炭素貯留プロセス
- ・ブルーカーボンとグリーンカーボンの特徴比較
- ・BC生態系におけるBC貯留算定の概要（IPCC関連）
- ・農林水産省・農林水産技術会議プロジェクトにおけるBC貯留算定の考え方
- ・海草・海藻藻場におけるBC貯留量の算定式および算定パラメータ
- ・BC算定における留意事項など

4月下旬～5月下旬のプレスリリースを目途に作成中